

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2005年10月3日～)

発表日: 2005年10月3日 (月)

～趨勢的な日本の高パフォーマンス、株高債券安は変わらずか～

(No. MW-27)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
10月3日(月)	日本	日銀短観・業況判断DI・大企業製造業(9月)	★★★	20	17~23	18	
		・大企業非製造業(9月)	★★★	17	15~20	15	
		毎月勤労統計(8月)・名目賃金	★			+1.3%	前年比
	欧州	欧製造業PMI(9月)	★★★	50.8	50.4~53.2	50.4	
	米国	ISM製造業景気指数(9月)	★★★	51.9	49.6~54.0	53.6	
		自動車販売台数(9月)	★	1,610	1,580~1,670	1,680	万台
10月4日(火)	日本	マネタリーベース(9月)		+1.4%	+1.0~+1.7%	+1.1%	前年比
		10年債入札	★				
	欧州	欧生産者物価(8月)		+0.4%	+0.3~+0.5%	+0.5%	前月比
		欧失業率(8月)		8.6%	8.6~8.7%	8.6%	
10月5日(水)	欧州	欧サービス業PMI(9月)		53.4	52.8~54.0	53.3	
		欧小売売上高(8月)		+0.5%	▲0.1~+0.8%	▲0.5%	前月比
	米国	ISM非製造業景況指数(9月)	★	60.0	57.0~63.0	65.0	
10月6日(木)	欧州	ECB理事会	★	2.00%	2.00~2.00%	2.00%	前回据え置き
		英BOE金融政策委員会(5日から)	★	4.50%	4.50~4.50%	4.50%	前回据え置き
		英鉱工業生産(8月)		+0.2%	▲0.3~+0.5%	▲0.3%	前月比
		独製造業受注(8月)		▲2.5%	▲4.0~▲0.2%	+4.1%	前月比
10月7日(金)	日本	景気動向指数(8月)・先行DI		100.0	90.0~100.0	30.0	
		一致DI		88.9	66.7~88.9	45.5	
	欧州	独鉱工業生産(8月)		▲0.5%	▲1.8~+1.0%	+1.2%	前月比
	米国	雇用統計・非農業就業者数(9月)	★★	▲170	▲400~▲75	+169	千人
		失業率(9月)	★	5.1%	4.9~5.2%	4.9%	
時間あたり賃金(9月)		★★	+0.2%	0.0~+0.3%	+0.1%	前月比	
		消費者信用残高(8月)		+43	▲40~+100	+44	億ドル

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種バンダー調査に基づく
注目度は筆者

今週の注目点

今週は日米欧とも注目される経済指標の発表が相次ぐ。日本では日銀短観(9月調査、10/3)、米国ではISM製造業(9月、10/3)、雇用統計(9月、10/7)、欧州では製造業PMI(9月、10/3)などの企業景況感調査である。日本では、先に発表された法人企業景気予測調査でも明らかになっているが、企業のセンチメントは引き続き堅調である。04年からハイテク、04年後半からは非ハイテク分野で在庫調整に見舞われたほか、原油価格の高騰など、企業収益を取り巻く環境は必ずしも芳しいものではなかった。にもかかわらず企業景況感の大幅な落ち込みが避けられた背景には、収益性の改善と内需の底割れが回避されたことが挙げられる。すでにハイテク部門では在庫調整にメドがついたと見られるほか、非ハイテク分野でも中国国内での在庫調整が順調に進展していることなどを勘案すれば、景気の先行きに対してかなり希望がもてると言えよう。足下での需給ギャップの縮小などから判断すれば、消費者物価の特殊要因剥落にすぎるまでもなく、デフレ脱却期待が高まるところでもある。

米国では、相次いだハリケーンの影響やそれに伴う燃料費の一段の高騰などのセンチメント押し下げ要因はあるものの、すでに発表されたシカゴPMIなどから判断すれば、企業マインドにはそれほど大きな影響はないようだ。一方で消費者のセンチメントは急低下したが、燃料費の高騰が落ち着き始めていることなどから、一過性のものと言えよう。年明け頃からは復興需要が見込まれる上、世界的にも景気循環は持ち直し感が鮮明になる公算が大きく、やがて米国でも再び雇用改善、所得向上が期待される。

マーケットは、こうした展開をすでにある程度織り込んでいる。ここへ来て上昇ペースが再加速した日本

の株式市場が良い例だ。

ところで、実は先週の欧州株式市場の上昇ペースは日本とほぼ同じであった。それに比べて米国株式市場の上昇率は小さいものにとどまっているが、これはこれから訪れる循環的拡大に際し、景気拡大の“糊代”が小さいことが予想されているからだろう。ここで言う“糊代”とは、インフレの高まりに対する糊代、あるいは景気を抑制するような水準まで金利が上昇する糊代と言える。日本や欧州では、先行き景気回復を相当程度前倒して織り込んでいる格好だけに、今週発表される企業センチメントが予想レンジの下限に近いようなものにとどまれば、寧ろ一旦失望売りに晒されよう。しかし、中期的に見た相対的な高パフォーマンスが維持できると見なされれば（それだけの構造的な変化、あるいは政策面での余裕を持った対応が裏付けられれば）、調整が大きくなるようなことはないだろう。政策対応に不安はあるが、趨勢的には株高、そして金利高のトレンドは変わらないものと予想される。

【債券市場】：図表は3～4ページ

先週は、主要国を中心に金利は上昇。米国ではF e d高官などから景気に対して楽観的、且つインフレ警戒的な発言が目立ったことに加え、週後半には市場予想を上回る好内容の経済指標の発表が相次いだことが金利上昇に繋がった。このほか、日本では連日の株価高騰、日銀理事らによる景気に対する楽観的な見方、及び量的緩和政策早期解除の可能性を高めるような発言が目立ったことが、金利上昇に繋がった。今週は、日本では週初の日銀短観、米国では週初のI S Mと週末の雇用統計が注目される。また欧州でも連日月次指標が発表されるほか、欧、英で金融政策決定会合が行われるなど、世界的に材料が多い。全般的には、景気がしっかりとしていることが示唆されるような内容になると見込まれる。このため、今週も世界的に金利は上昇傾向が続くと予想される。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、世界的に株価は上昇。米国などで経済指標が予想を上回ったことなどもあって、先行き景気回復感が寄り強まってくるとの見方が高まった。また、7～9月期の企業業績も総じて好調なものになるとの見方も、米国などで株価を押し上げた。日本では、デフレ脱却をテーマに株価上昇期待が一段と強まる格好となった。今週は、日米欧とも注目度の高い経済指標の発表があり、今後の景気回復期待を更に高めるものとなるかどうかの一つの焦点。予想の範囲内にとどまるようだと、これまでの上昇が速かったこともあって、一段高とはなりにくいか。7～9月期業績発表を控え、個別の動きも徐々に強まってくる。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルが円やユーロ、ポンドに対して上昇。FRBによる米経済への強気な見方とインフレ警戒姿勢の予想以上の強さがドル上昇に繋がった。今週は、日米欧とも注目される経済指標が発表される。なかでも、日本と欧州は今後の金融政策の変化に繋がる可能性もあり、為替相場はこれまでのドル主導の動きから、円やユーロ主導へとバトンタッチする公算もある。特に、日欧では景況感の改善度合い、米国ではインフレ関連指標の動きに注目となる。

【商品市場】：図表は7ページ

先週は、一部穀物を除き上昇。WT Iは前週末比+3.2%とやや高めの上昇率となった。世界的な原油需給は各国の備蓄放出もあって緩和しており、原油価格下落材料となっている一方で、ハリケーンの影響から米国での原油精製施設の回復がこここのところ滞っており、原油価格押し上げ要因となっている。先週は後者の材料が目立った格好。今週は、遅れているとはいえ米国の原油精製施設は徐々に回復していることから、原油価格の騰勢は鈍るものと見込まれる。さらに、世界的な原油需給が大幅に緩和している現状に目が向くことにより、徐々に調整色が強まろう。一方、その他一次産品については、日米欧の経済指標で企業の景況感が強いことが確認されれば、一段高が予想される。

[債券市場]

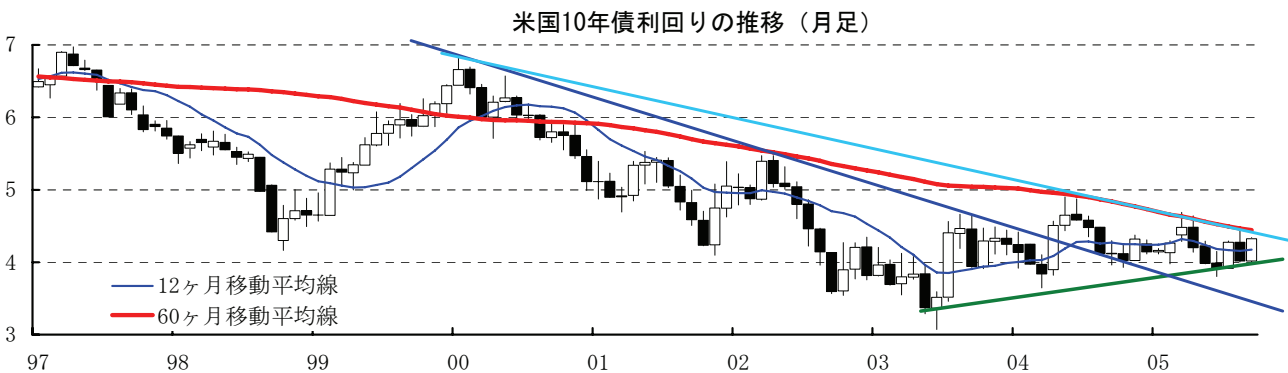
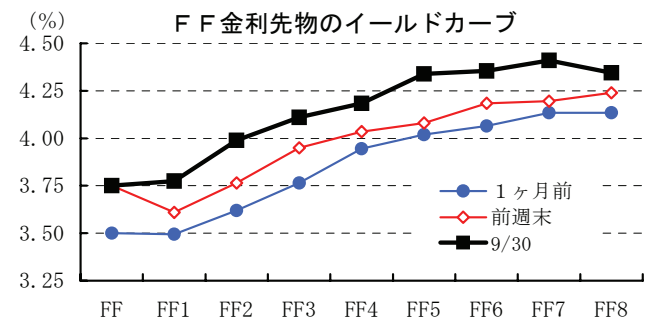
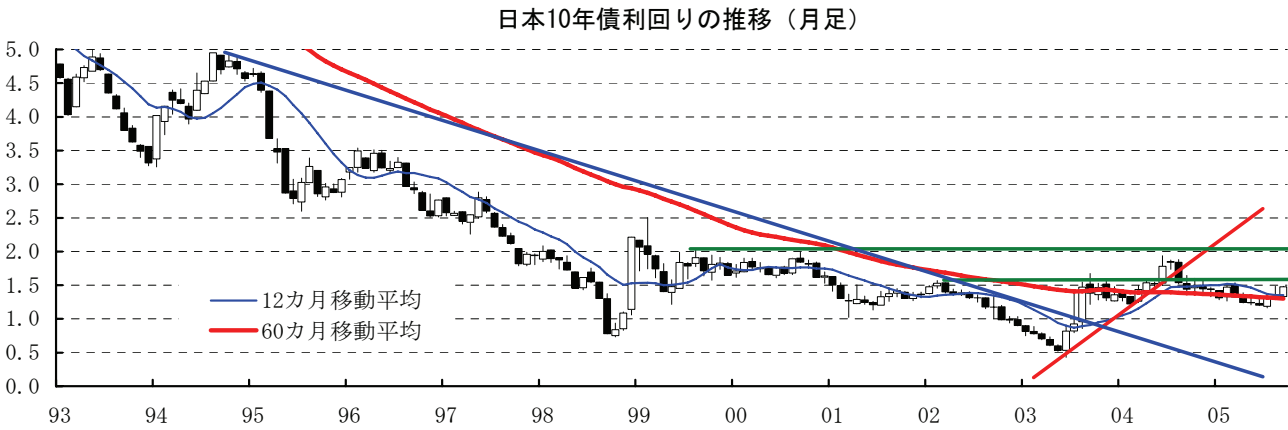
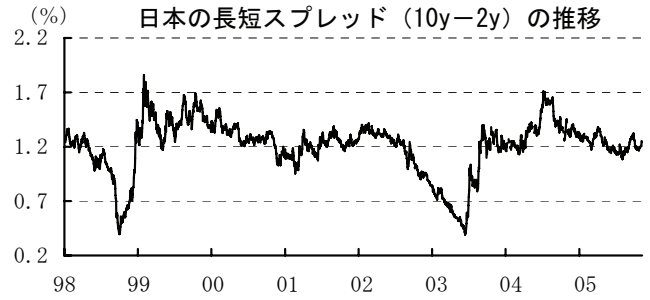
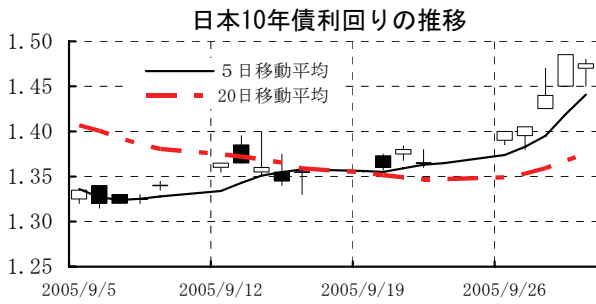
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前	
2年	日本	0.235	+10	+8	+6	▲3	▲2	+0	▲1	+4	+3	+2	▲0
	米国	4.165	+156	+23	+15	+18	▲13	▲3	+1	+38	▲20	+11	+4
	イギリス	4.193	▲49	+6	+0	▲9	▲16	▲21	▲24	+11	▲6	+6	▲2
	ドイツ	2.394	▲19	+15	+13	+0	▲24	▲7	▲16	+23	▲5	+8	+2
	スイス	1.126	▲1	+14	+15	▲7	▲15	▲3	▲12	+9	+5	+2	▲5.6
	スウェーデン	2.185	▲59	+8	+9	▲5	▲27	▲11	▲32	+15	+9	+8	+1
	ポーランド	4.301	▲283	▲13	+13	+6	▲1	▲30	▲55	+6	▲26	▲7	▲5.6
	カナダ	3.360	+7	+28	+12	+34	▲20	▲10	▲14	+21	▲4	+15	+6
	メキシコ	8.397	▲61	▲39	▲7	+32	+18	▲62	▲28	+2	▲49	▲3	▲3
	ニュージーランド	6.095	▲18	+18	+15	+2	▲23	▲11	▲1	▲9	▲4	+2	+1
	オーストラリア	5.284	+13	+23	+16	+8	▲35	▲6	▲4	▲1	▲12	▲0	+2
	韓国	4.585	+104	+41	▲6	▲8	▲14	▲12	+34	+17	▲9	+2	+15
	シンガポール	2.310	+71	+26	+5	+7	▲1	▲1	▲12	+7	+1	+15	+6
	タイ	3.873	+151	+16	▲2	▲1	+1	+6	+11	+41	+29	+10	+2
インド	6.101	+56	+6	+3	+4	+26	▲15	+3	▲8	+5	+2	+3	
10年	日本	1.475	+4	+11	+11	▲15	▲8	+1	▲9	+14	+3	+1	+1
	米国	4.324	+21	+23	+8	+22	▲28	▲13	▲16	+36	▲26	+15	▲2
	イギリス	4.287	▲55	+11	+7	▲4	▲17	▲14	▲22	+14	▲16	+9	▲3
	ドイツ	3.148	▲84	▲0	+9	▲9	▲23	▲6	▲20	+11	▲14	+7	▲6
	スイス	1.888	▲72	▲1	+9	+11	▲7	▲26	▲4	▲2	▲7	+2	▲1
	スウェーデン	3.041	▲126	▲0	+7	▲13	▲36	▲13	▲26	+6	▲6	+13	▲5
	ポーランド	4.716	▲206	▲7	+26	+2	+7	▲44	▲45	+23	▲17	▲9	▲9
	カナダ	3.968	▲65	+16	+6	+5	▲18	▲17	▲22	+12	▲8	+10	▲1
	メキシコ	8.626	▲160	▲38	+0	+48	+8	▲98	▲21	+4	▲63	+4	+3
	ニュージーランド	5.864	▲26	+19	+19	+11	▲36	▲14	+3	▲1	▲7	+1	▲3
	オーストラリア	5.362	▲11	+26	+19	+11	▲33	▲17	▲7	+2	▲8	▲1	+2
	韓国	5.115	+105	+22	▲22	+2	▲16	▲27	+45	+23	▲19	+3	+11
	シンガポール	2.850	▲44	▲2	▲7	+9	▲27	▲24	▲1	+0	+20	+10	▲2
	タイ	5.270	+70	+41	+6	▲17	▲21	▲2	▲33	+60	+32	+17	+3
インド	7.094	+85	+1	+4	+16	+66	▲33	▲13	+8	+12	+0	+3	
長短スプレッド	日本	+124.0	▲6	+3	+5	▲12	▲6	+1	▲8	+10	+1	▲1	+1
	米国	+15.9	▲136	+0	▲7	+4	▲16	▲10	▲17	▲2	▲6	+4	▲7
	イギリス	+9.4	▲6	+4	+7	+6	▲1	+7	+3	+4	▲9	+3	▲1
	ドイツ	+75.4	▲65	▲16	▲4	▲9	+2	+0	▲4	▲12	▲9	▲1	▲7
	スイス	+76.2	▲71	▲15	▲7	+18	+8	▲22	+8	▲11	▲12	▲0	+4
	スウェーデン	+85.6	▲67	▲8	▲2	▲8	▲8	▲3	+6	▲9	▲15	+4	▲6
	ポーランド	+41.5	+77	+7	+13	▲4	+9	▲14	+9	+17	+10	▲2	▲3
	カナダ	+60.8	▲73	▲13	▲6	▲29	+1	▲7	▲8	▲9	▲4	▲5	▲7
	メキシコ	+22.9	▲99	+1	+8	+16	▲10	▲36	+7	+2	▲14	+7	+6
	ニュージーランド	▲23.1	▲9	+0	+5	+10	▲13	▲3	+4	+8	▲3	▲1	▲4
	オーストラリア	+7.8	▲24	+2	+4	+3	+2	▲11	▲3	+3	+4	▲1	▲0
	韓国	+53.0	+1	▲19	▲16	+9	▲1	▲16	+12	+6	▲10	+0	▲4
	シンガポール	+54.0	▲115	▲28	▲12	+2	▲26	▲23	+11	▲7	+19	▲5	▲8
	タイ	+139.7	▲81	+25	+8	▲16	▲22	▲8	▲44	+20	+3	+7	+1
インド	+99.3	+29	▲4	+1	+11	+40	▲18	▲16	+15	+7	▲1	+0	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅(例：4週間＝4週間前の週間変化幅、6カ月前＝6カ月前の月間変化幅)を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。

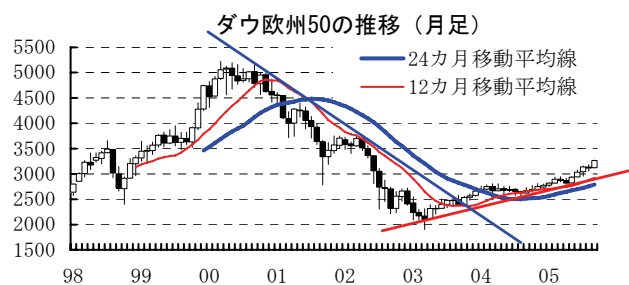
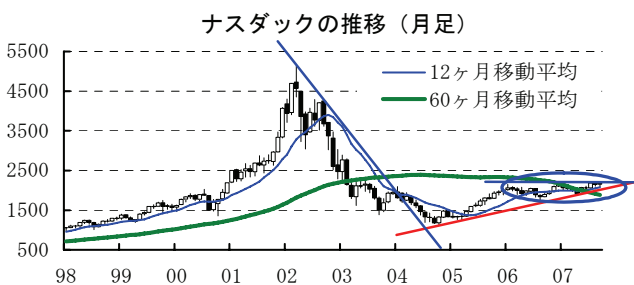
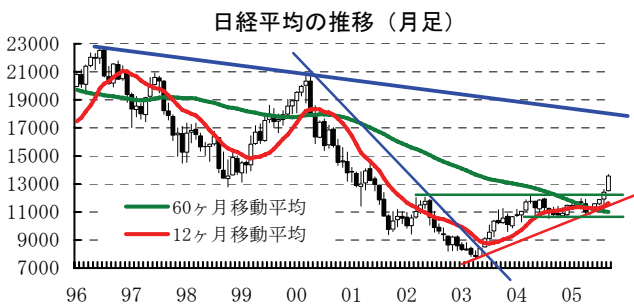
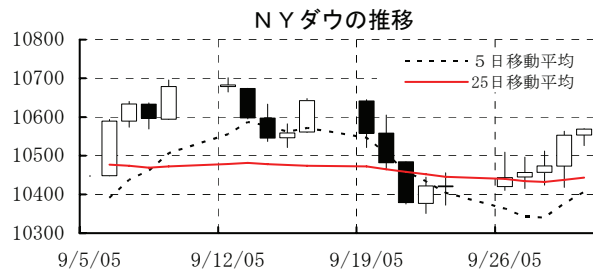
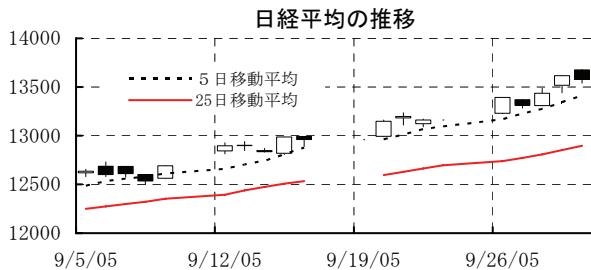


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
			1年前～ 1月前～ 前週末～			月間					週間		
			6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前			
日本	日経平均	13574.30	+25.4	+9.0	+3.2	▲0.6	▲5.7	+2.4	+2.7	+2.7	+4.3	+2.1	+1.5
	TOPIX	1412.28	+28.1	+10.9	+4.1	+0.4	▲4.4	+1.3	+2.9	+2.4	+5.5	+2.7	+2.1
	日経店頭	2129.62	+22.3	+2.5	▲0.8	+1.1	+1.3	▲2.0	+3.9	+3.3	+1.2	+2.2	▲0.0
米国	NYダウ	10568.70	+4.8	+1.5	+1.4	▲2.4	▲3.0	+2.7	▲1.8	+3.6	▲1.5	▲0.3	▲2.1
	S P500	1228.81	+10.2	+1.7	+1.1	▲1.9	▲2.0	+3.0	▲0.0	+3.6	▲1.1	▲0.3	▲1.8
	ナスダック	2151.69	+13.4	+1.0	+1.6	▲2.6	▲3.9	+7.6	▲0.5	+6.2	▲1.5	▲0.7	▲2.0
	フィラデルフィア半導体	475.32	+23.7	+1.4	+3.2	▲4.6	▲7.5	+11.2	▲2.3	+13.2	▲0.1	▲1.5	▲3.0
イギリス	FT100	5477.70	+19.8	+4.2	+1.2	▲1.5	▲1.9	+3.4	+3.0	+3.3	+0.3	+0.9	+0.1
ドイツ	DAX	5044.12	+29.6	+5.3	+3.3	▲0.0	▲3.8	+6.6	+2.8	+6.5	▲1.2	▲0.4	▲2.1
欧州	ダウ欧州50	3261.30	+22.2	+5.6	+2.0	▲0.9	▲1.7	+4.2	+3.5	+3.4	▲0.8	+0.4	▲0.5
スウェーデン	ストックホルムOMX	896.29	+27.0	+6.9	+3.0	+0.1	▲2.7	+5.7	+3.8	+5.0	▲1.7	+0.4	▲0.3
ポランド	ワルシャワWIG	33801.17	+33.8	+7.8	+1.7	▲3.6	▲5.3	+3.6	+5.9	+7.5	+3.0	+3.7	▲0.1
ロシア	RT	1007.76	+59.5	+14.2	+4.4	▲6.6	+0.2	+0.6	+4.8	+10.3	+12.9	+1.9	+4.6
メキシコ	ボルサ	16120.08	+47.1	+15.1	+3.0	▲8.1	▲2.8	+5.2	+4.0	+6.8	▲1.2	+1.4	+1.4
ブラジル	ボベスバ	31583.79	+35.9	+14.4	+0.9	▲5.4	▲6.6	+1.5	▲0.6	+4.0	+7.7	+1.7	+5.0
アルゼンチン	メルバル	1694.83	+48.3	+6.6	+2.2	▲10.2	▲3.7	+10.2	▲8.0	+10.3	+4.9	+1.0	+1.9
NZ	ニュージーランドSX50	3452.79	+21.8	+3.0	+1.3	▲5.3	▲1.9	+1.7	+7.0	+3.5	▲0.2	+1.4	▲0.8
オーストラリア	AS200	4641.20	+26.6	+4.6	+1.7	▲1.5	▲3.1	+3.1	+4.2	+2.6	+1.3	+1.9	+0.2
香港	ハンセン	15428.52	+17.6	+3.4	+1.9	▲4.8	+2.9	▲0.3	+2.4	+4.8	+0.2	▲1.2	+1.1
韓国	総合	1221.01	+46.2	+13.8	+3.8	▲4.5	▲5.6	+6.5	+3.9	+10.2	▲2.5	+1.9	+0.1
台湾	加権	6118.61	+4.7	+1.4	+3.3	▲3.3	▲3.1	+3.3	+3.8	+1.1	▲4.4	▲1.4	▲1.8
シンガポール	ST	2305.14	+16.1	+1.6	+0.5	+1.0	▲0.8	+1.7	+2.4	+6.3	▲3.3	+0.2	▲0.6
タイ	SET	723.23	+12.2	+4.4	▲0.3	▲8.1	▲3.3	+1.3	+1.2	+0.0	+3.3	▲0.6	+2.4
インド	ムンバイSENSEX30	8634.48	+54.6	+11.5	+5.0	▲3.3	▲5.2	+9.1	+7.1	+6.1	+2.2	+4.0	▲1.9
中国	上海A	1214.01	▲17.1	+0.7	+0.3	▲9.6	▲1.9	▲8.5	+2.0	+0.3	+7.3	+2.0	▲5.0

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

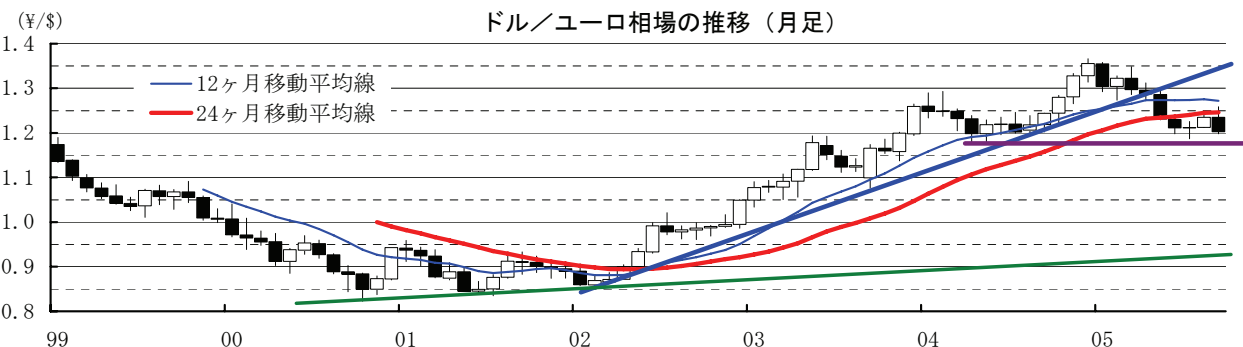
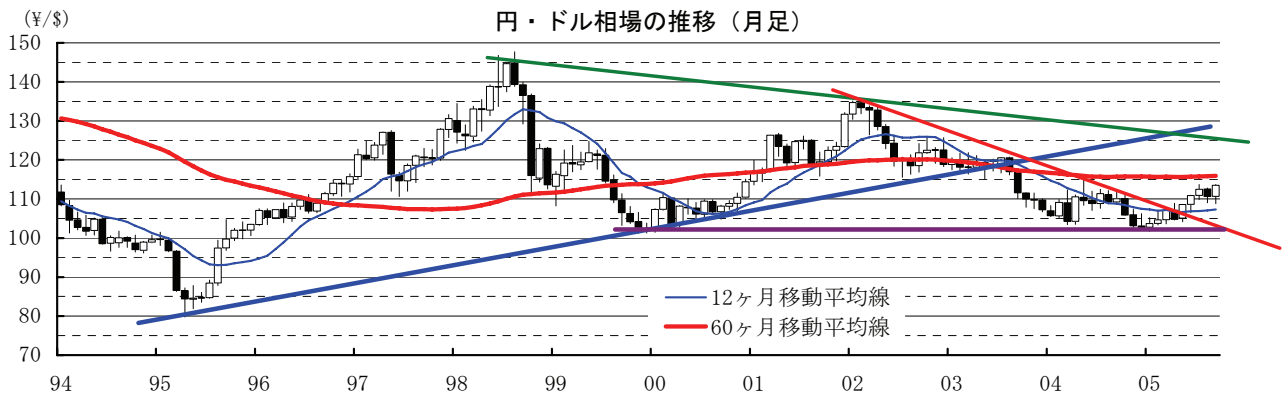
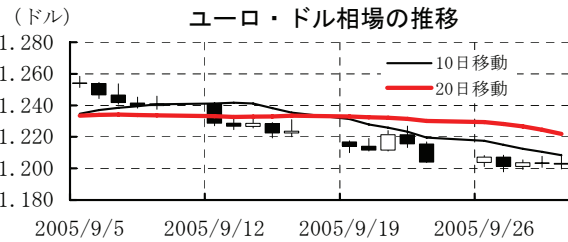
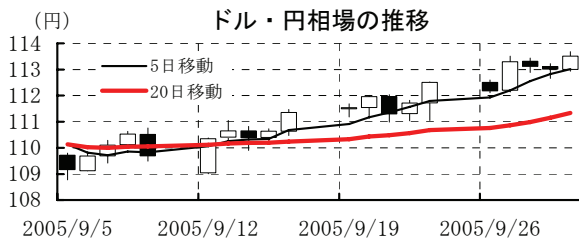


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間						週間	
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本円	113.51	▲3.1	▲2.0	▲0.9	▲2.4	+2.2	▲3.6	▲2.2	▲1.4	+1.7	▲1.5	▲1.0
ユーロ	1.2026	▲3.3	▲1.6	▲0.1	▲2.0	▲0.7	▲4.4	▲1.6	+0.1	+1.8	▲1.4	▲1.6
イギリスポンド	1.7643	▲2.6	▲1.2	▲0.6	▲1.6	+1.0	▲4.8	▲1.4	▲1.9	+2.6	▲1.7	▲1.8
スイスフラン	1.2939	▲3.8	▲1.9	▲0.1	▲2.9	+0.1	▲4.5	▲2.7	▲0.6	+2.8	▲2.1	▲1.8
スウェーデンクローナ	7.745	▲5.5	▲1.2	+0.6	+2.0	▲3.3	▲5.2	▲5.0	+0.5	+2.7	▲1.8	▲2.0
ポーランドズロチ	3.264	+7.8	+1.6	▲1.3	+5.7	▲7.5	▲7.2	+1.4	▲0.6	+3.2	▲0.4	▲1.4
ロシアルーブル	28.498	+2.5	+0.3	+0.0	+1.2	▲0.7	▲1.3	▲1.4	+0.0	+0.5	▲0.4	▲0.5
カナダドル	1.1630	+7.8	+2.4	+0.6	+1.9	▲4.0	+0.3	+2.4	+0.1	+2.9	▲0.1	+0.8
メキシコペソ	10.759	+5.8	+0.6	+0.8	+0.9	▲0.7	+2.6	+1.2	+1.4	▲1.5	▲1.5	+0.0
ブラジルリアル	2.228	+21.9	+6.5	+1.6	+0.4	▲3.2	+10.2	+3.1	▲2.0	+0.9	+0.4	+1.5
アルゼンチンペソ	2.909	+2.9	+0.1	+0.0	▲0.5	+0.7	+1.2	▲0.2	+0.9	▲1.8	▲0.0	+0.1
NZドル	0.691	+3.0	+0.2	+0.5	+2.3	▲2.1	▲1.0	▲1.0	▲2.4	+2.3	▲0.4	▲2.4
オーストラリアドル	0.7620	+4.7	+1.7	+0.6	▲2.4	+1.1	▲3.3	+0.9	▲0.8	▲0.2	▲1.0	▲1.3
韓国ウォン	1042.40	+9.6	▲0.8	▲0.5	+2.1	▲0.9	+0.5	▲2.6	+0.7	▲0.7	▲0.5	▲0.7
台湾ドル	33.188	+2.4	▲2.7	▲0.0	+2.1	▲1.4	+0.5	▲0.8	▲0.7	▲2.9	▲0.9	▲0.7
シンガポールドル	1.6920	▲0.5	▲0.5	▲0.4	▲1.8	+0.8	▲1.8	▲1.1	+1.3	▲1.1	▲0.5	▲0.2
タイバーツ	41.05	+0.8	+0.7	+0.2	▲2.3	▲0.8	▲3.0	▲1.7	▲0.8	+0.9	▲0.2	▲0.2
インドネシアルピア	10300	▲12.1	+2.4	▲0.8	▲0.8	▲2.5	▲0.5	▲2.5	▲0.5	▲5.0	+0.6	▲0.7
インドルピー	44.02	+4.2	+0.1	▲0.2	▲0.1	▲0.1	+0.1	+0.5	+0.0	▲1.5	▲0.1	▲0.1

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
直近値以外の単位は%。
網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。

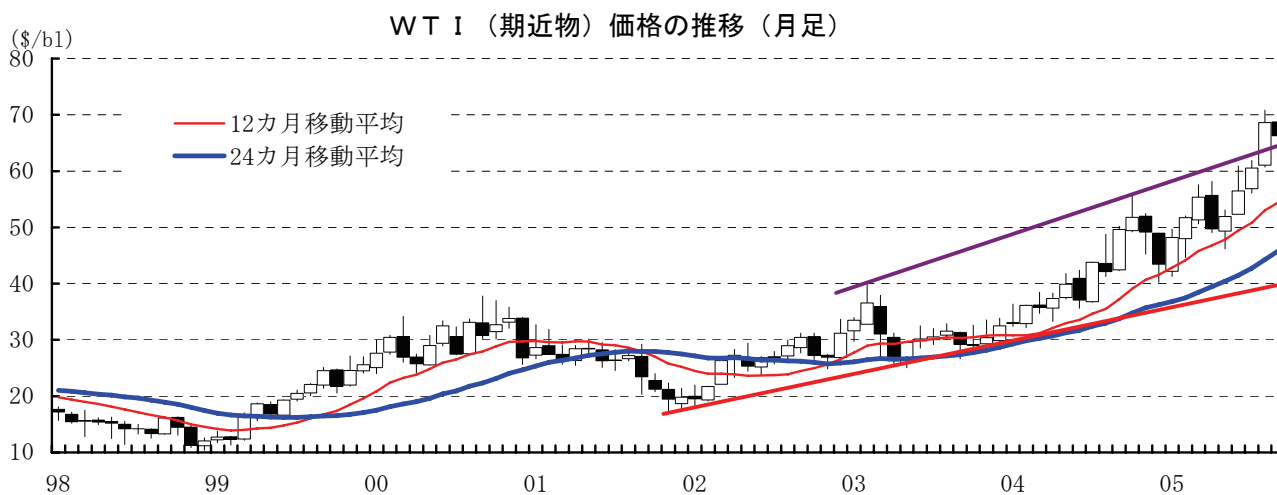
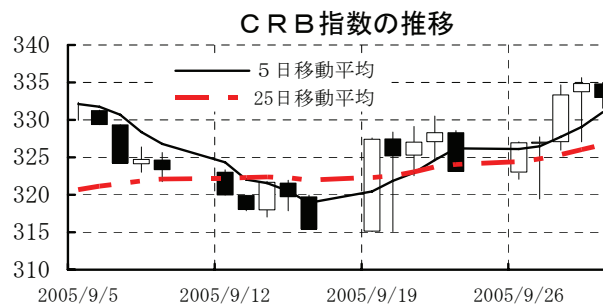
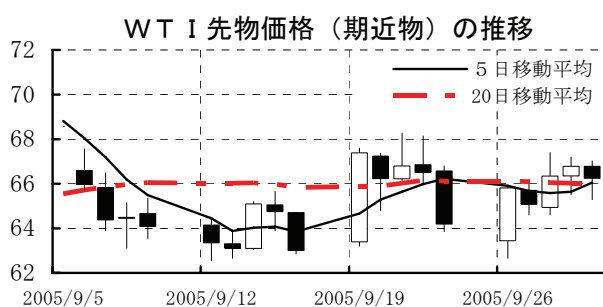


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間	2週間
WTI	66.24	+33.4	▲5.1	+3.2	+7.1	▲10.3	+4.5	+8.7	+7.2	+13.3	▲1.7	+1.9
北海ブレント	63.48	+36.9	▲6.1	+1.7	+8.4	▲5.9	▲0.7	+9.6	+6.8	+12.9	▲4.7	+1.0
ドバイ	57.50	+50.2	▲1.8	+0.0	+7.3	▲0.4	▲2.3	+17.4	+4.1	+10.8	▲1.1	+1.3
OPECバスケット	58.17	+34.9	▲3.6	▲1.9	+8.6	▲4.6	▲0.6	+9.3	+4.2	+12.7	▲0.3	▲1.0
金 (NY)	469.0	+12.0	+8.4	+1.1	▲2.0	+1.7	▲4.5	+5.0	▲1.6	+1.2	+2.3	+0.8
銅 (NY)	180.15	+28.7	+5.6	+0.2	+0.7	▲1.2	+0.8	+3.2	+8.6	+0.9	▲0.7	+7.5
アルミ (NY)	86.60	▲4.8	+0.0	+0.3	+2.2	▲8.9	▲5.2	▲2.4	+8.1	▲0.3	▲1.6	+3.2
小麦 (シカゴ)	346.25	+12.9	+12.7	+3.8	▲1.9	▲3.9	+4.3	▲3.1	+1.9	▲8.0	+3.6	+2.9
大豆 (シカゴ)	167.20	+7.0	▲9.4	▲2.4	+2.2	+4.0	+10.4	▲3.6	+2.6	▲14.1	▲3.8	▲1.3
コーン (シカゴ)	205.50	+0.0	+1.0	▲0.8	▲0.7	▲3.9	+8.4	▲4.4	+11.4	▲14.8	+1.6	+0.5
CRB	332.97	+16.8	+0.5	+3.1	+2.8	▲3.1	▲1.0	▲0.3	+4.0	+5.6	▲2.5	+2.4
JOC	122.36	+6.8	+7.3	+1.0	+1.1	▲2.9	▲2.8	▲1.4	+0.2	+5.5	▲0.8	+1.0
日経商品指数 (17種)	109.46	+3.0	+1.0	+0.2	+0.2	▲0.9	▲0.0	+0.6	+1.2	+0.3	▲0.2	+1.0
日経商品指数 (国際)	109.38	+25.8	+4.3	▲0.2	+4.5	▲0.4	▲3.2	+3.1	+4.5	+2.9	▲1.1	+2.3

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間＝4週間前の週間変化率、6カ月前＝6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 OPECバスケット、日経商品指数(国際)は木曜日、日経商品指数(17種)は水曜日の値。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)商品、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。